

# 日本の作曲家シリーズV

今年で5回目をむかえる“日本の作曲家シリーズ”今回は廣瀬量平さんをお願いすることになりました。

廣瀬さんは、1930年函館生れ、北大卒業後東京芸術大学専攻科卒業、60年代に尺八を使った曲で作曲家としてのスタートを切りました。

その作風は、10年程前の2回にわたるインド旅行でうけた影響で大きく変りはじめました。永遠性を求めながらも決してむづかしくはない「語り口」で自分の音楽を作りはじめたのです。

今回の委嘱作品の一つ「フルートソロの為の曲」について「今迄日本人がフルートの曲をかくと、尺八風、あるいは横笛風になって、妙にカんだり、暗くなったりしがちだったが、僕はそうではなく、明るい、優雅な曲にした」と廣瀬さんは語っておられます。

現代音楽はむづかしい、訳がわからないとお考えの方にぜひ聴いて戴きたいと思います。きき手を無視していると思われがちだったこのジャンルも今は大きく変わりつつあります。

新しい音楽の生れる現場に立ちあってみませんか。

日時 3月31日(水) 午後6時30分開演

会場 横浜市教育文化ホール

(関内駅南口下車2分)

出演 齋藤鶴吉・チェロ 植村泰一・フルート  
浜中浩一・クラリネット

菊池百合子・ピアノ 三橋貴風・尺八

曲目 芬陀利華(プンダリーカ)・鶴林・抒情  
組曲 Hymn (讃歌) 委嘱新作1曲

◎当日会場でアンケートにお答え下さった方の中から抽選で廣瀬さんのレコードを差し上げます。(日本コロムビア提供)

## 応募方法

往復はがきに住所・氏名(返信用にも)年齢・行事名を記入して。

〒231 横浜市中区万代町1-1

横浜市教育文化センター文化事業課へ

☎045-671-3715

はがき1枚につき1人 1人2通以上の応募は無効。定員500人

応募者多数の場合は抽選

中学生以上の方に限ります。

◎締切り 3月18日(消印有効)

主催 横浜市教育文化センター・後援 朝日新聞横浜支局

## ■ 廣瀬量平の世界 ■